

【事故】

令和7年度 富山県道路安全・円滑化検討委員会

事故危険区間関係 説明資料

— 目 次 —

- | | |
|-------------------------|------|
| 1. これまでの検討経緯 | P 1 |
| 2. 富山県の交通事故状況 | P 4 |
| 3. 令和7年度 事故危険区間の解除箇所の選定 | P 8 |
| 4. 令和7年度 事故危険区間の追加箇所の選定 | P13 |
| 5. 令和7年度 事故危険区間数 | P19 |
| 6. 今後の進め方について | P 20 |

令和7年8月28日(木)

1. これまでの検討経緯

(1) 令和6年度の委員会の確認内容(前回)

8月

検討委員会の開催

- ①富山県の交通事故状況
 - ・交通事故件数の推移
 - ・生活道路事故件数の推移など
- ②事故対策事例の紹介
- ③最新事故データによる事故危険区間の解除・追加判定
- ④今後の進め方

(2) 令和7年度の委員会の検討内容(今回)

8月

検討委員会の開催

- ①富山県の交通事故状況
 - ・交通事故件数の推移
 - ・生活道路事故件数の推移など
- ②最新事故データによる事故危険区間の解除・追加判定
- ③今後の進め方

1. これまでの検討経緯

(3) 令和6年度の事故危険区間箇所数

- 事故危険区間は、①事故危険箇所、②事故多発箇所、③アンケート抽出箇所の3条件を基に抽出。
- 令和6年度時点で132箇所(国75、県57)を登録。

【富山県事故危険区間の抽出基準】



図1-1 事故危険区間抽出基準と登録箇所数

1. これまでの検討経緯

(4) 事故危険区間の解除・追加フロー

- 事故危険区間の解除・追加は、最新事故データで評価し抽出基準の該当状況より判定。
- 平成29年度委員会で承認を受けた「事故危険区間解除・追加フロー」に基づき候補箇所を選定。

【事故危険区間の解除フロー】

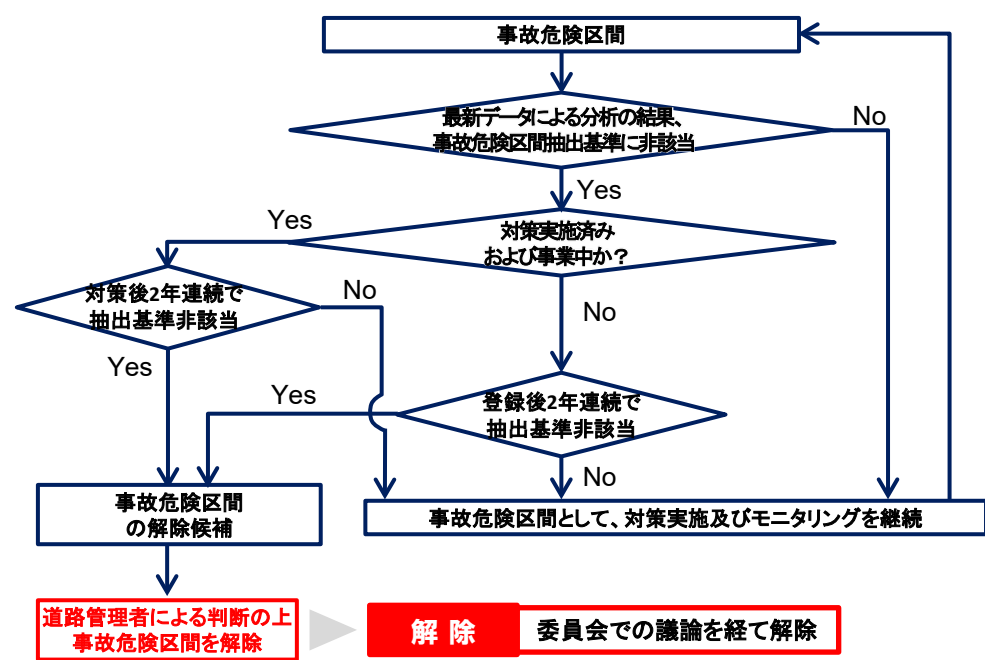


図1-2 事故危険区間解除フロー
(平成29年度委員会にて決定)

【事故危険区間の追加フロー】

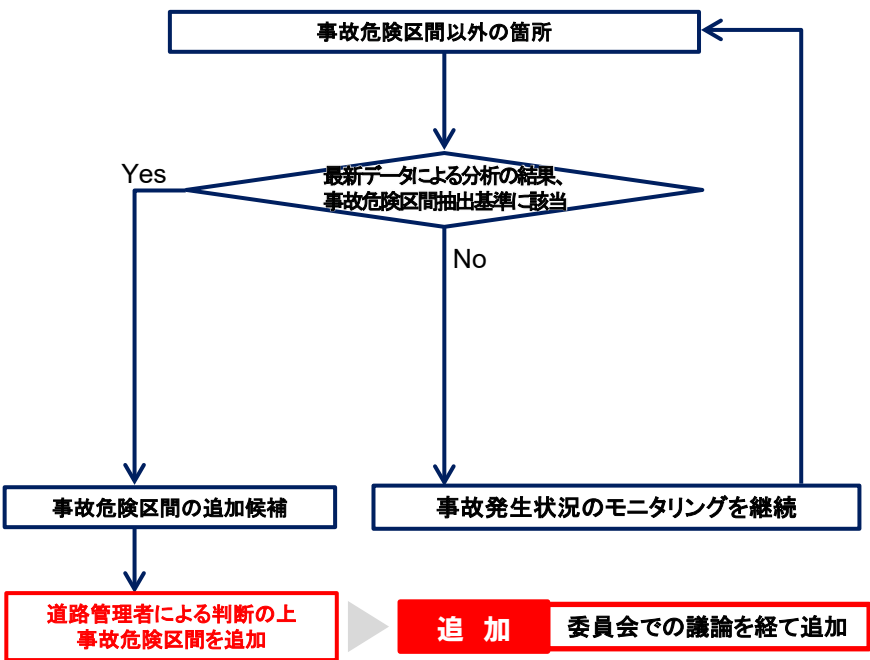


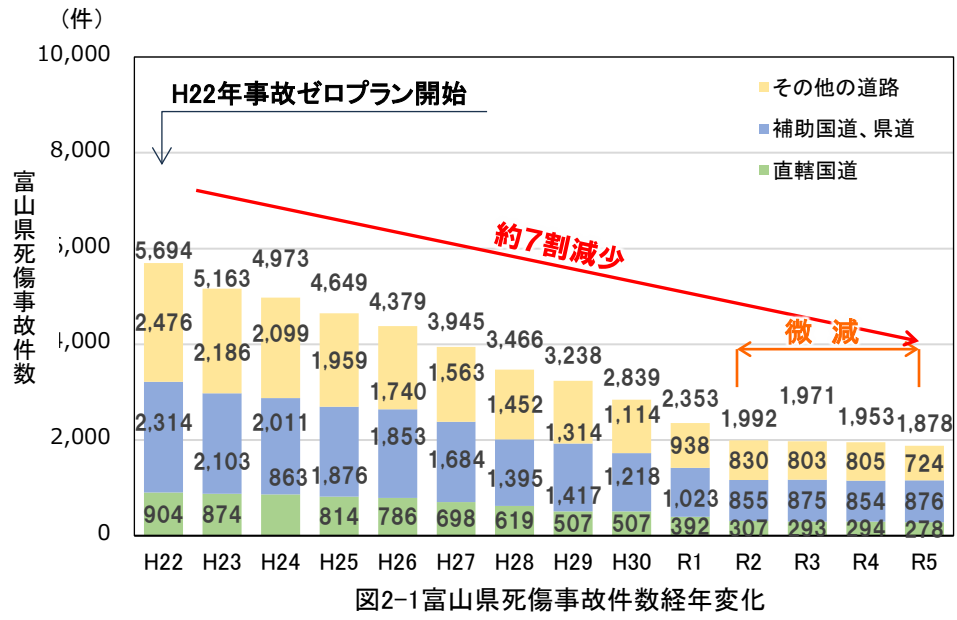
図1-3 事故危険区間追加フロー
(平成29年度委員会にて決定)

2. 富山県の交通事故状況

(1) 富山県の死傷事故件数推移

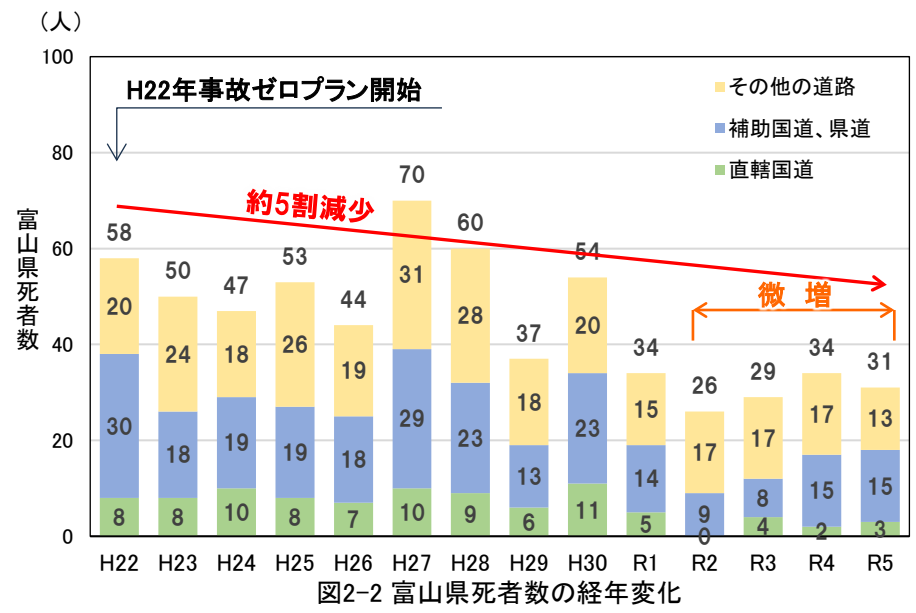
- 富山県死傷事故は、H22年～R5年にかけて約7割減少。一方、R2～R5年の直近4年間は微減。
- 富山県死者数は、H22年～R5年にかけて約5割減少。一方、R2～R5年の直近4年間は微増。

【富山県死傷事故件数推移】



出典：交通事故統計年報＋ITARDAデータ
富山県警察本部「交通事故白書」

【富山県死者数推移】



出典：交通事故統計年報＋ITARDAデータ
富山県警察本部「交通事故白書」

2. 富山県の交通事故状況

(2) 富山県生活道路(5.5m未満道路)の死傷事故

- 富山県生活道路(5.5m未満道路)の死傷事故は、隣県と比べ事故減少率が低く、近年横ばいの推移。
- 富山県の死傷事故は、5.5m未満道路上が約3割を占めており、隣県と比べ事故発生割合が高い。

【富山県生活道路(5.5m未満道路)上の死傷事故件数推移】

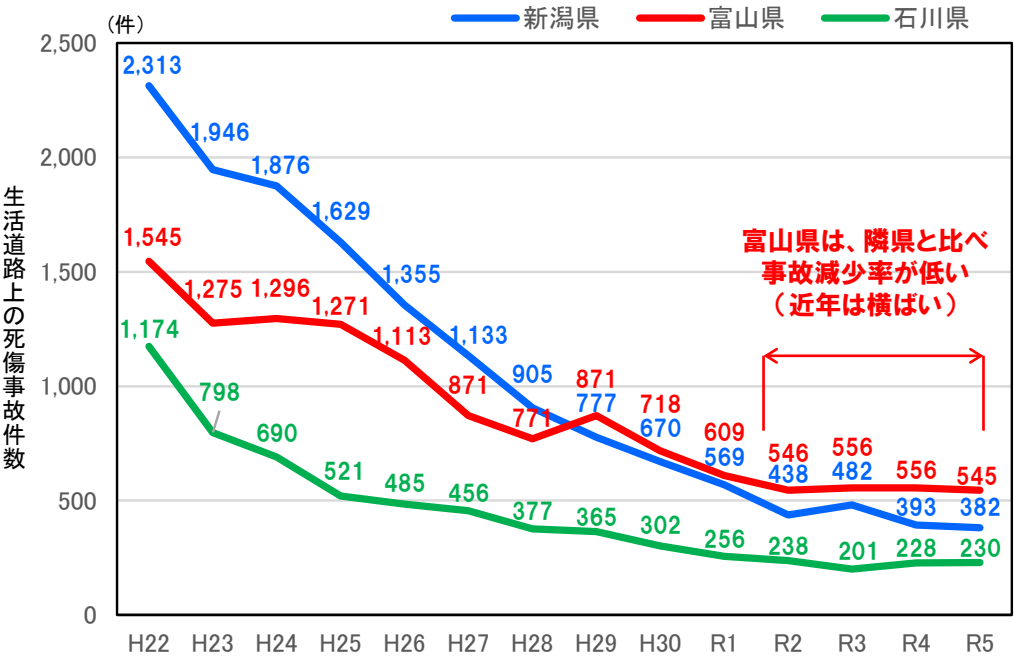


図2-3 富山県生活道路(5.5m未満)の死傷事故経年変化

出典：交通事故統計年報

【車道幅員別の死傷事故割合】

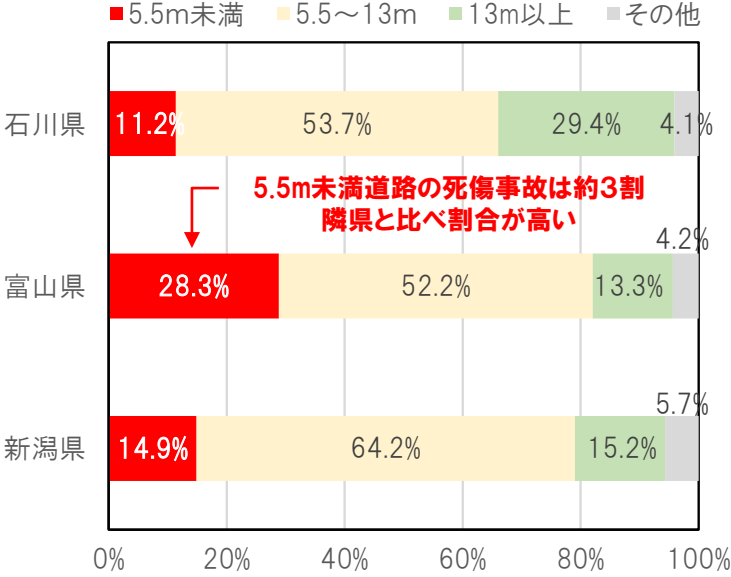


図2-4 車道幅員別事故件数割合

出典：交通事故統計年報（R2～R5年事故データ）

- ※車道幅員解説
- ①5.5m未満道路 → センターラインが無い生活道路
 - ②5.5～13m道路 → 2車線～4車線の幹線道路
 - ③13m以上道路 → 4車線以上の幹線道路

2. 富山県の交通事故状況

(3) 富山県事故類型割合(隣県との比較)

- 富山県死傷事故は、追突事故と出会頭事故が約7割を占める。
特に、出会頭事故発生割合は、隣県(新潟県・石川県)と比べても高く、全国第4位に該当。

【死傷事故類型別割合(北陸3県)】

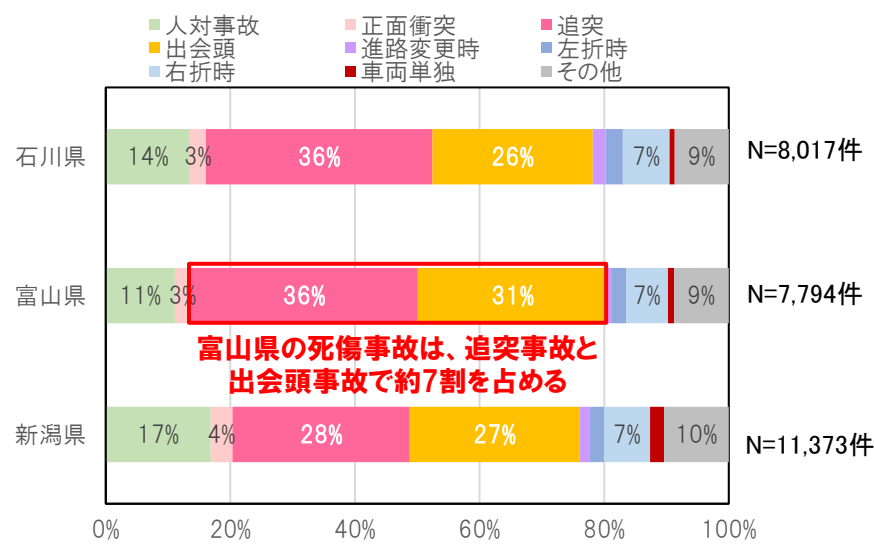


図2-5 死傷事故類型割合

出典: 交通事故統計年報
(R2~R5年事故データ)

(参考) 出会頭事故発生割合 全国ランキング(上位10位)

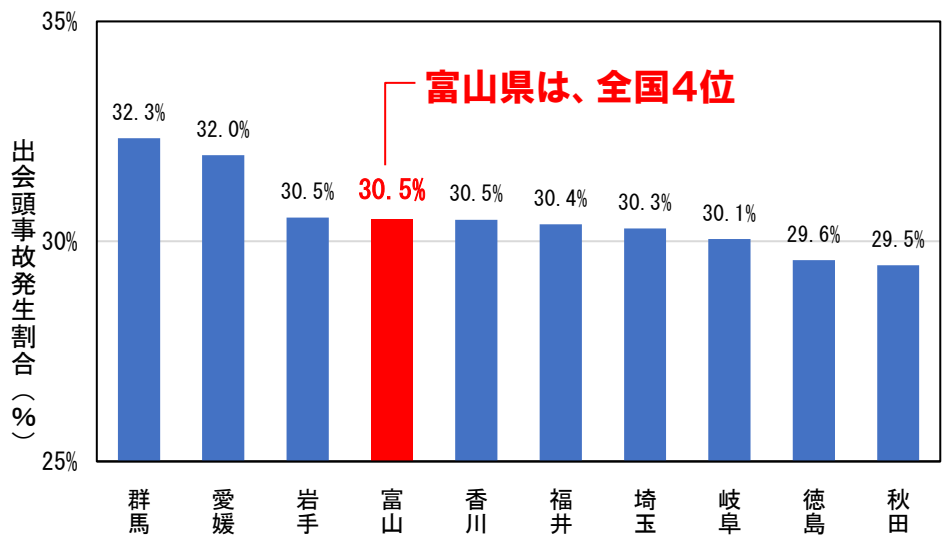


図2-6 出会頭事故全国ランキング(上位10位)

※事故類型別発生割合=対象事故類型件数/全事故件数
出典: 交通事故統計年報より算定
(R2~R5年事故データ)

2. 富山県の交通事故状況

(4) 富山県事故多発交差点

- 県道以上の交差点を対象に、R2～R5年の4年間で死傷事故が多発した交差点ワースト5位を整理。
ワースト1位は、国道8号新屋交差点の15件、次いで国道41号城址公園前交差点の13件が該当。
- ワースト5位の交差点は、全て富山市内に集中。

【R2～R5年事故多発交差点 (ワースト5)】

表2-1 R2～R5年の富山県事故多発交差点 ※県道以上の交差点

順位	管理	市区町村名	路線	地先名	事故件数 [件/4年]
1	富山河川 国道事務所	富山市	8	新屋交差点	15
2	富山河川 国道事務所	富山市	41	城址公園前交差点	13
3	富山河川 国道事務所	富山市	41	荒川東部交差点	12
4	富山県	富山市	359	婦中大橋西口交差点	12
5	富山県	富山市	62	羽根交差点	11

出典：ITARDA区間別データ
(R2～R5年事故データ)



図2-7 R2～R5年の富山県事故多発交差点位置図

3. 令和7年度 事故危険区間の解除箇所を選定

(1) 解除候補箇所の選定

- 最新事故データ(R2～R5年事故データ)による選定の結果、事故危険区間の解除候補箇所は47箇所。
(国28箇所、県19箇所)

【解除候補箇所の抽出フロー】

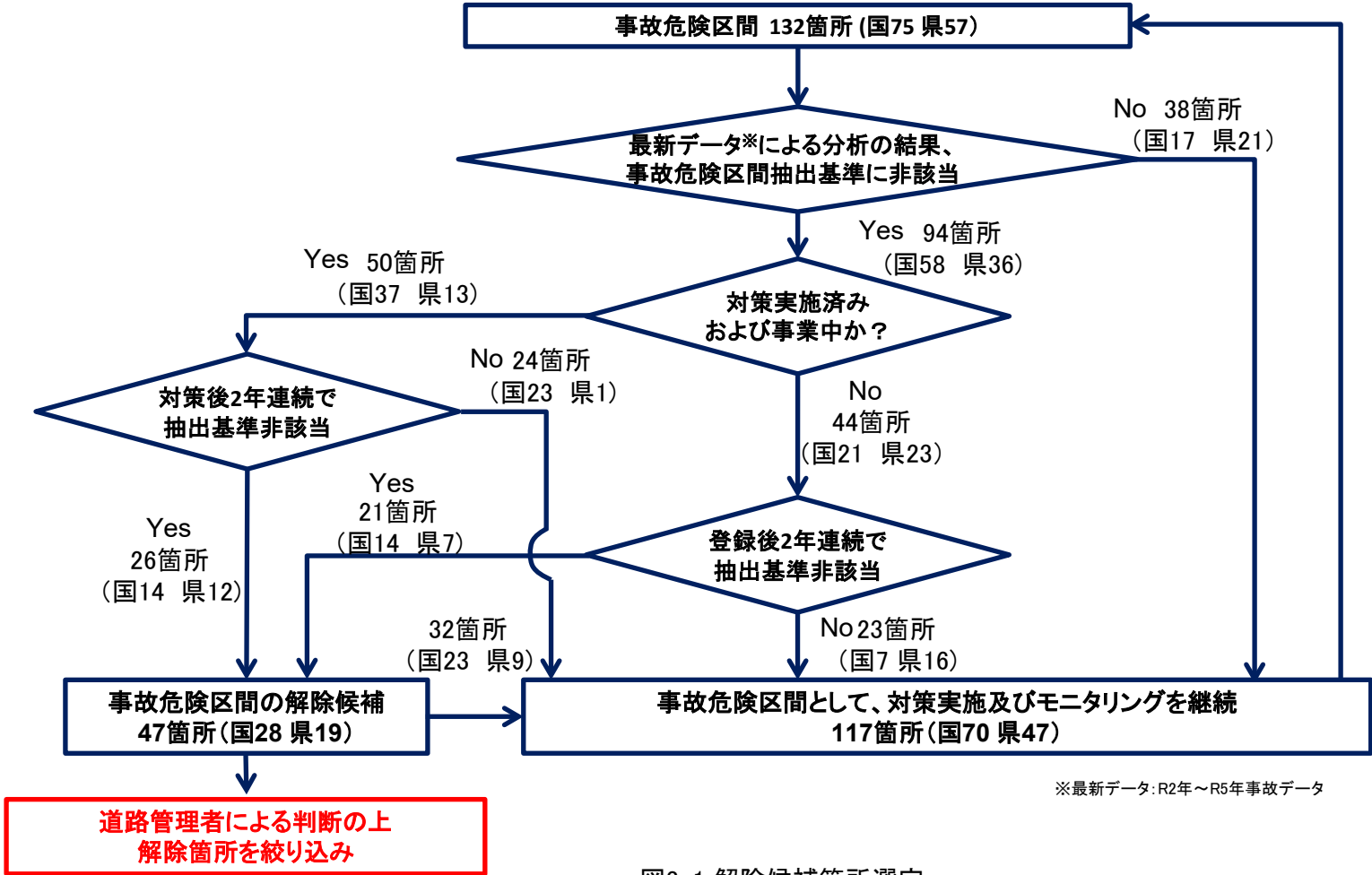


図3-1 解除候補箇所選定

3. 令和7年度 事故危険区間の解除箇所を選定

(2) 道路管理者による解除箇所絞り込み結果

- 令和7年度 事故危険区間解除箇所は、事故の危険性がより低い15箇所(国5箇所、県10箇所)を選定。

≪国管理の事故危険区間解除箇所≫

表3-1 令和7年度 解除箇所(国管理)

管理	No	市町村名	道路種別	路線番号	地点名	最新事故データ(R2～R5年事故)				対策内容
						a:死傷事故率 (件/億台km)	b:重大事故率 (件/億台km)	c:死亡事故率 (件/億台km)	d:死傷事故件数 (件/年)	
富山河川国道事務所	1	富山市	国道	8	水橋小路交差点	60.7	0.0	0.0	0.75	注意喚起標識設置「右折時対向車注意」(H27年)
	2	富山市	国道	8	水橋二杉交差点	60.7	20.2	0.0	0.75	ドットライン設置(R2年)
	3	富山市	国道	41	掛尾町第二交差点	98.6	0.0	0.0	1.25	ドットライン設置(R2年)
	4	富山市	国道	41	一番町南交差点	48.6	0.0	0.0	0.50	一番町南交差点改良事業(R2年)
	5	富山市	国道	41	一番町交差点	24.3	0.0	0.0	0.25	隅切りセブラ帯設置(H25年)

() :対策完了年
■ :事故危険区間抽出基準非該当の数値

≪県管理の事故危険区間解除箇所≫

表3-2 令和7年度 解除箇所(県管理)

管理	No	市町村名	道路種別	路線番号	地点名	最新事故データ(R2～R5年事故)				対策内容
						a:死傷事故率 (件/億台km)	b:重大事故率 (件/億台km)	c:死亡事故率 (件/億台km)	d:死傷事故件数 (件/年)	
富山県	6	富山市	国道	415	中田交差点	146.8	0.0	0.0	0.75	道路改良(H27年)
	7	富山市	主要地方道	1	西宮256 (東岩瀬駅前交差点)	47.9	0.0	0.0	0.25	法線変更を含む交差点改良(R3年)
	8	富山市	主要地方道	6	西町交差点	88.3	0.0	0.0	0.75	
	9	富山市	主要地方道	7	田刈屋東交差点	223.7	0.0	0.0	0.75	区画線(交差点内導流線)設置(H24年)
	10	高岡市	主要地方道	24	江尻～荻布	15.6	0.0	0.0	0.75	
	11	南砺市	主要地方道	27	北市345	900.8	0.0	0.0	0.75	区画線(減速ドットライン)設置 警戒標識設置(H23年)
	12	富山市	主要地方道	56	五福一区交差点	72.5	0.0	0.0	0.50	
	13	富山市	主要地方道	56	太田交差点	219.3	0.0	0.0	0.75	交差点改良(H22年)
	14	富山市	主要地方道	68	綿中町砂子田37-6	778.0	0.0	0.0	0.75	側溝蓋掛けによる路肩拡張(H22年)
	15	高岡市	県道	251	本俣409	763.6	0.0	0.0	0.75	区画線(止まれ)引き直し(H22年)

() :対策完了年
■ :事故危険区間抽出基準非該当の数値

15箇所解除

■道路管理者の解除判定基準(例)

〔事故危険区間抽出指標〕

- a:死傷事故率100件/億台km以上
- b:重大事故率10件/億台km以上
- c:死亡事故率1件/億台km以上
- d:死傷事故件数1件/年以上

最新事故データで事故危険区間抽出基準が3指標以上非該当の箇所を解除と判定

3. 令和7年度 事故危険区間の解除箇所を選定

■ 事故危険区間の解除箇所位置図

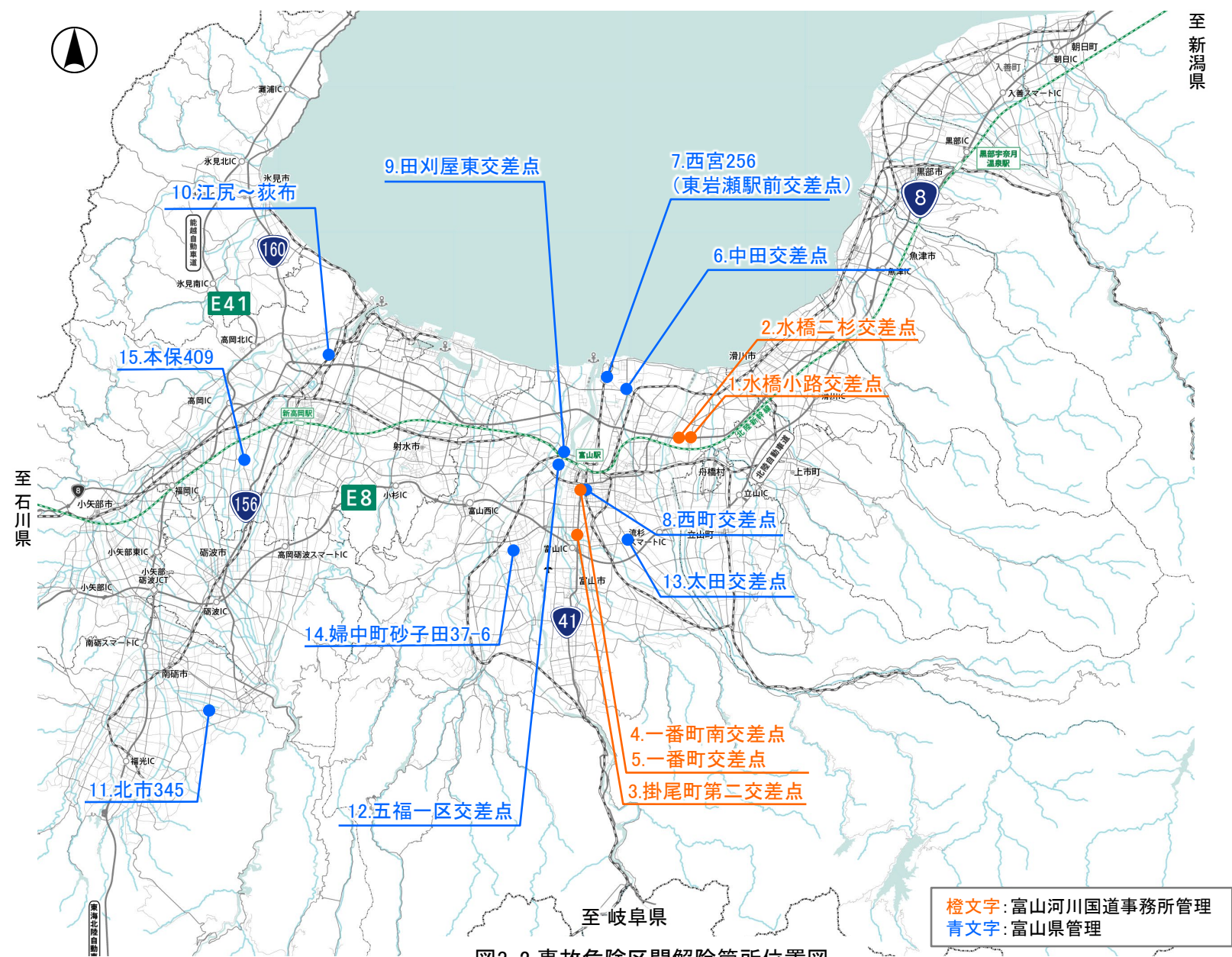


図3-2 事故危険区間解除箇所位置図

3. 令和7年度 事故危険区間の解除箇所を選定

■ 事故危険区間の解除箇所の事例

国道41号 一番町（南）交差点 【抽出基準②：事故多発箇所】

- 対策前事故：一番町交差点の右折車が右折車線をはみ出し渋滞。その末尾で追突事故が発生。
- 対策内容：隣接する一番町交差点の右折車線を延伸(R2年対策完了)
- 対策効果：対策後、死傷事故が約7割減少。(選定時 2.25件/年 → 対策後 0.67件/年)
- 判定：近年死傷事故が少なく、事故の危険性が低いと推察されるため事故危険区間を解除。

《位置図》

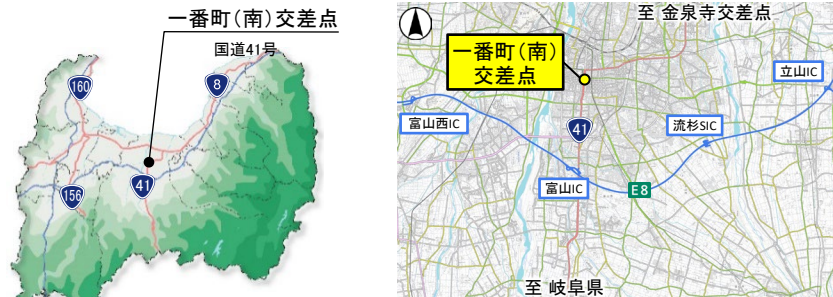


図3-3 位置図 ※電子地形図25000(国土地理院)に一部追記

《対策前の事故発生状況》

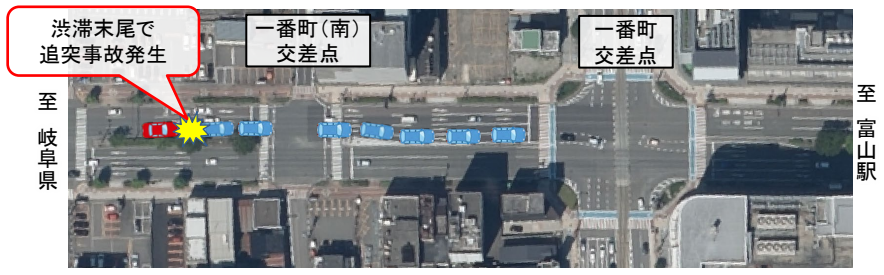


図3-5 事故発生状況 ※地理院地図に一部追記

《対 策：一番町交差点の右折車線延伸(R2年対策完了)》 《整備効果結果と判定》

【対策前】



※写真撮影日：令和2年10月24日

【対策後】



※写真撮影日：令和2年12月27日

図3-4 対策実施の概要

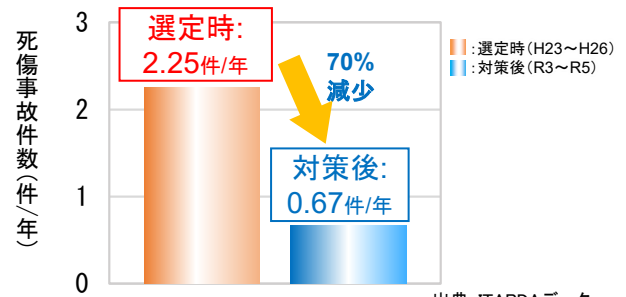


図3-6 死傷事故件数 出典：ITARDAデータ

■ 選定時の事故データ

- (平成23年～平成26年)
- ①死傷事故率：172.5件/億台km
 - ②死傷事故件数：2.25件/年

■ 最新の事故データ

- (令和3年～令和5年)
- ①死傷事故率：48.6 件/億台km
 - ②死傷事故件数：0.67 件/年

解除

3. 令和7年度 事故危険区間の解除箇所を選定

■ 事故危険区間の解除箇所の事例

主要地方道 富山魚津線 西宮256（東岩瀬駅前交差点）【抽出基準②：事故多発箇所】

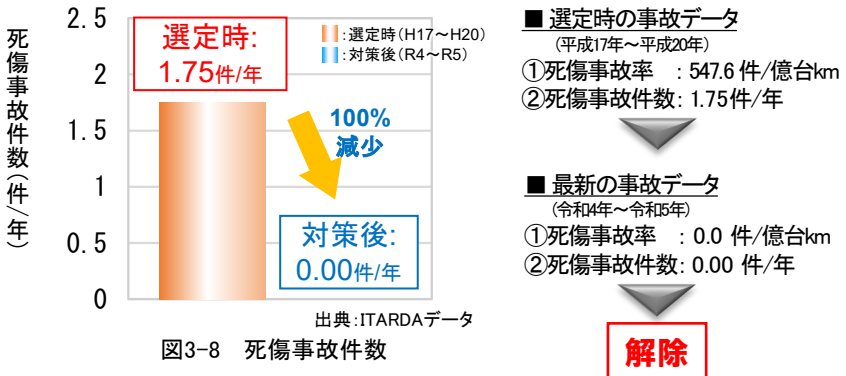
- 対策前事故: 当該交差点は、見通しの悪さと変則交差点が影響し事故が多発。
- 対策内容: 法線変更に伴う、変則交差点を解消。（R3年対策完了）
- 対策効果: 対策後、死傷事故は発生していない。（選定時 1.75件/年 → 対策後 0.00件/年）
- 判定: 近年、死傷事故の発生も無く、事故の危険性が低いと推察されるため、事故危険区間を解除。

＜位置図＞



図3-7 位置図

＜整備効果結果と判定＞

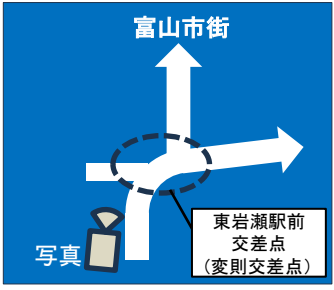


＜対 策: 変則交差点の解消 (R3年対策完了)＞

【対策前】



※写真撮影日: 平成29年9月21日



【対策後】



※写真撮影日: 令和6年7月

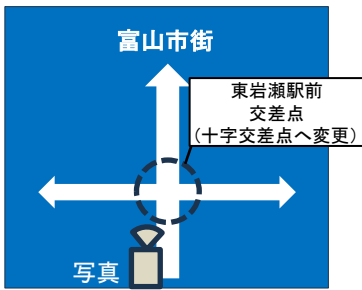


図3-9 対策実施の概要

4. 令和7年度 事故危険区間の追加箇所を選定

(1) 追加候補箇所の選定

- 最新事故データ(R2～R5年事故データ)による選定の結果、事故危険区間追加候補箇所は60箇所。
(国10箇所、県50箇所)

【追加候補箇所の抽出フロー】

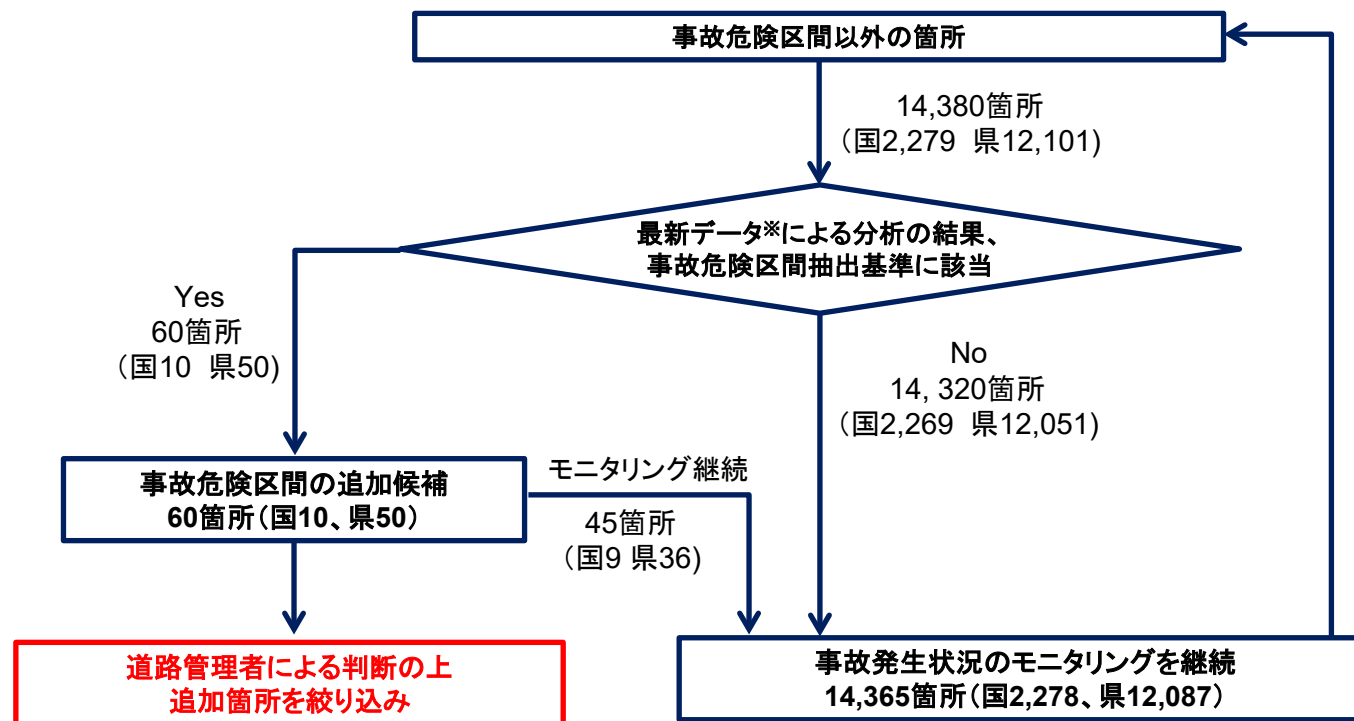


図4-1 追加候補箇所選定

※最新データ: R2年～R5年事故データ

4. 令和7年度 事故危険区間の追加箇所を選定

(2) 道路管理者による追加箇所絞り込み結果

- 令和7年度 事故危険区間追加箇所は、事故対策の優先度が高い15箇所(国1箇所、県14箇所)を選定。

表4-1 令和7年度 追加選定箇所

管理 事務所	No	市町村名	道路 種別	路線 番号	地点名	死傷事故件数						該当基準
						死傷事故件数				死傷 事故件数 (件/年)	死傷 事故率 (件/億台km)	
						R2	R3	R4	R5			
富山 河川 事務所	1	氷見市	国道	160	氷見警察署前交差点	3	1	0	1	1.25	155.4	事故多発箇所
	富山 県	2	富山市	国道	359	婦中町吉谷(無信号交差点)	0	1	0	2	0.75	125.8
3		射水市	主要 地方道	9	黒河(南)交差点	1	1	2	1	1.25	148.9	事故多発箇所
4		射水市	主要 地方道	11	小泉交差点	3	1	1	4	2.25	976.9	事故多発箇所
5		富山市	主要 地方道	22	本町	1	1	2	2	1.50	114.5	事故多発箇所
6		高岡市	主要 地方道	24	江尻(北)交差点	3	1	2	0	1.50	180.3	事故多発箇所
7		富山市	主要 地方道	30	東田地方(北)	0	2	1	2	1.25	178.1	事故多発箇所
8		射水市	主要 地方道	41	加茂中部(無信号交差点)	2	0	1	2	1.25	653.2	事故多発箇所
9		高岡市	主要 地方道	57	佐野(無信号交差点)	0	0	2	2	1.00	160.2	事故多発箇所
10		高岡市	主要 地方道	58	赤祖父(南)交差点	2	1	1	1	1.25	225.6	事故多発箇所
11		富山市	主要 地方道	62	羽根交差点	1	3	1	6	2.75	236.8	事故多発箇所
12		富山市	主要 地方道	68	婦中町速星(無信号交差点)	0	0	1	1	0.50	518.7	事故危険箇所
13		射水市	県道	232	高寺交差点	1	0	0	3	1.00	580.3	事故多発箇所
14		高岡市	県道	252	伊勢領(北)交差点	1	1	1	1	1.00	1200.6	事故多発箇所
15		高岡市	県道	351	中曽根	1	2	1	1	1.25	140.0	事故多発箇所

15箇所追加

4. 令和7年度 事故危険区間の追加箇所を選定

■ 事故危険区間の追加箇所位置図

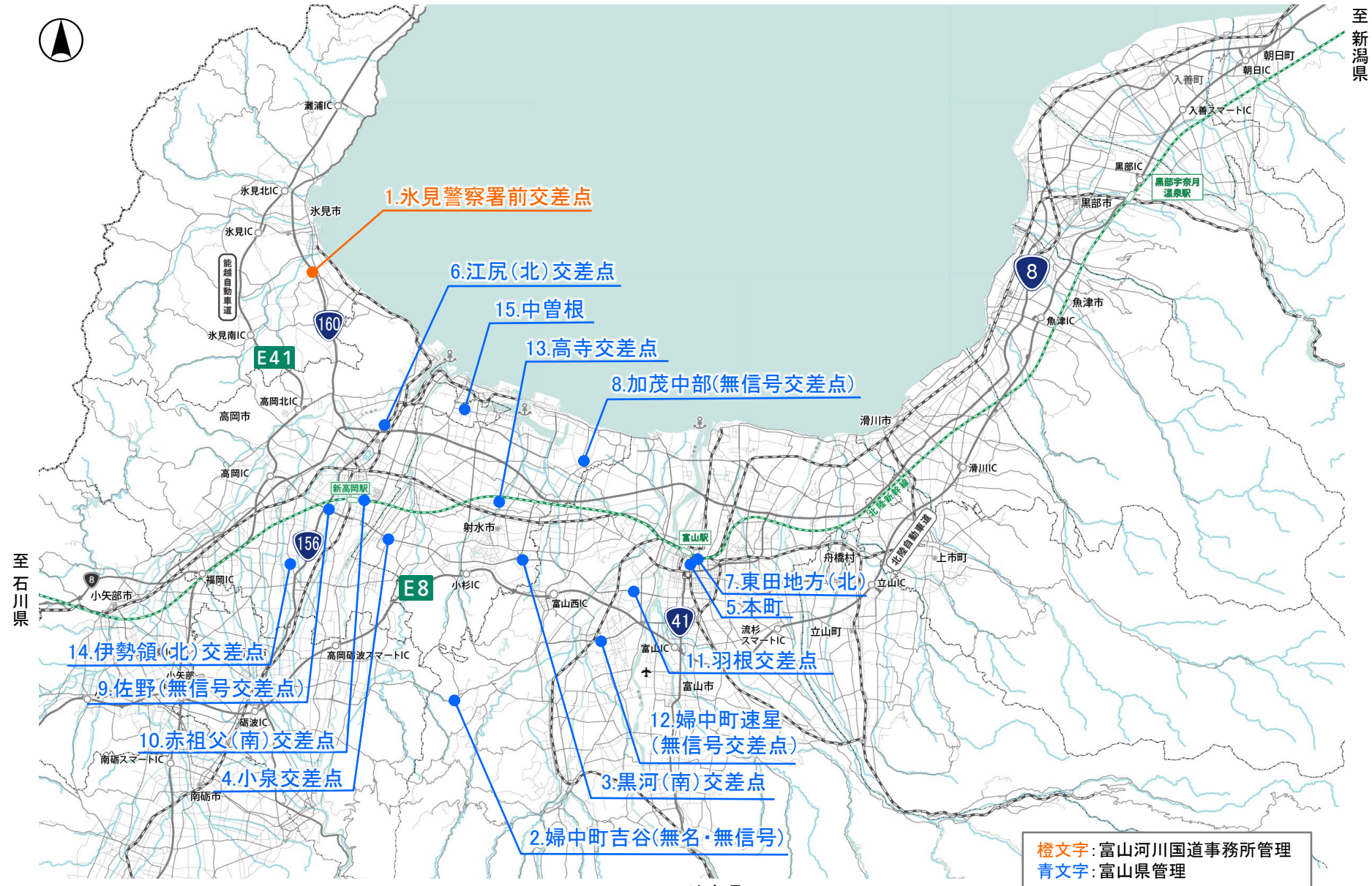


図4-2 事故危険区間追加箇所位置図

4. 令和7年度 事故危険区間の追加箇所を選定

■ 事故危険区間の追加箇所の事例

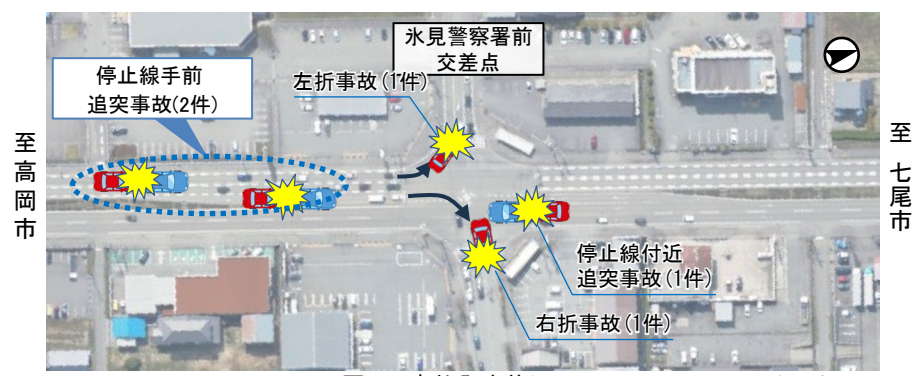
国道160号 氷見警察署前交差点 【抽出基準②：事故多発箇所】

- ① 氷見警察署前は、近年死傷事故が多発しており、事故危険区間抽出基準に該当。
- ② 交差点手前での追突事故が多いほか、交差点内の右折事故や左折事故も発生。

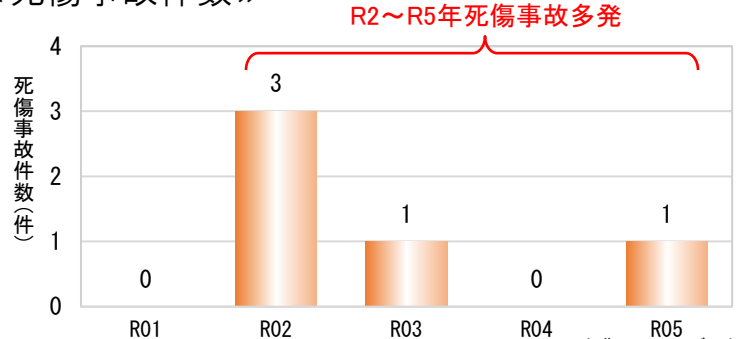
《位置図》



《事故発生状況》



《死傷事故件数》



■ 抽出基準 (氷見警察署前交差点の事故データ)

- ① 死傷事故率：155.4 件/億台km
- ② 重大事故率：62.2 件/億台km
- ③ 死亡事故率：0 件/億台km
- ④ 死傷事故件数：1.25 件/年

事故危険区間
抽出基準該当

出典：ITARDAデータ(R2～R5年事故データ)



4. 令和7年度 事故危険区間の追加箇所を選定

(参考) 令和6年度事故危険区間追加箇所「能越自動車道 高岡北IC入口交差点」の進捗状況

- ① 昨年度は、現況調査の他、道路利用者からの声を踏まえ危険挙動の確認を実施。
その結果、追突事故の要因となっている渋滞の他、Uターン車両を多数確認。
- ② 今後は、「ICランプ部の車道拡幅」や「交差点常時左折可」、「県道側の右折滞留長延伸」を計画予定。

位置図

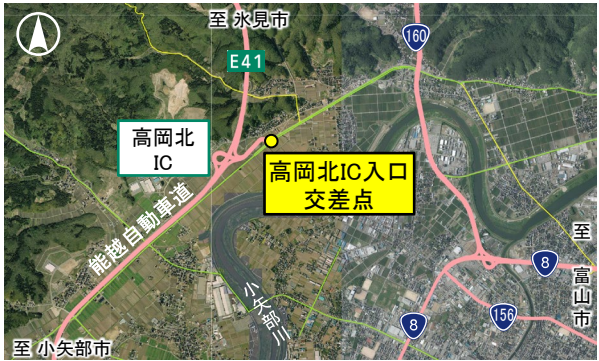


図4-7 位置図

危険挙動確認

① 道路利用者からの声

地元住民

<要望>
左折レーンで待つのが嫌で右折していきなりUターンする車が出て、とても危険。

② Uターン車両計測

・朝20分観測して10台計測
⇒ 1回の信号で1台発見するペース



※令和6年11月20日危険挙動計測結果

現況調査

① 交通量の確認

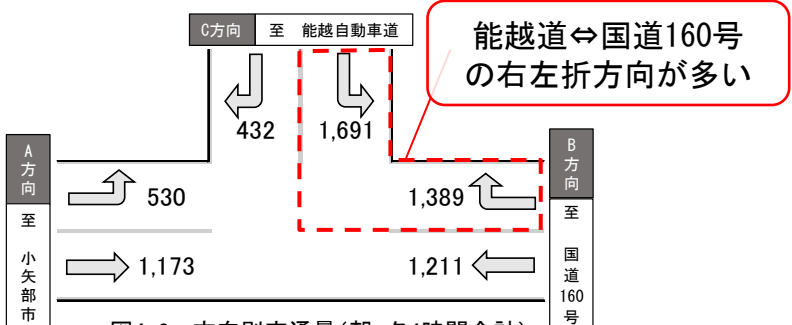


図4-8 方向別交通量(朝・夕4時間合計)

② 渋滞の確認

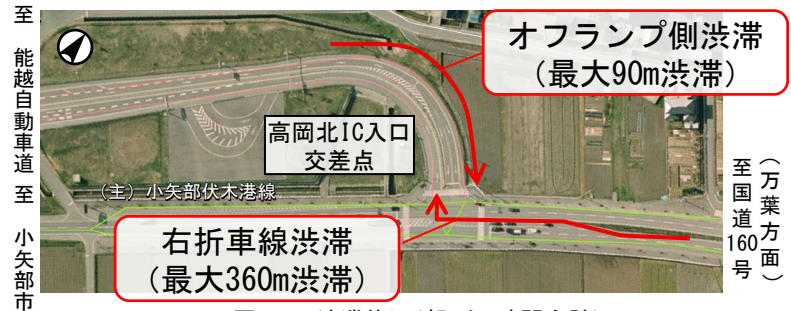


図4-9 渋滞状況(朝・夕4時間合計)

※令和6年10月9日交通量調査結果

計画予定

- ① ICランプ部の車道拡幅
- ② 交差点常時左折可
- ③ 県道側の右折滞留長延伸

※現在検討中のものであり、今後変更となる場合があります。

4. 令和7年度 事故危険区間の追加箇所を選定

■ 事故危険区間の追加箇所の事例

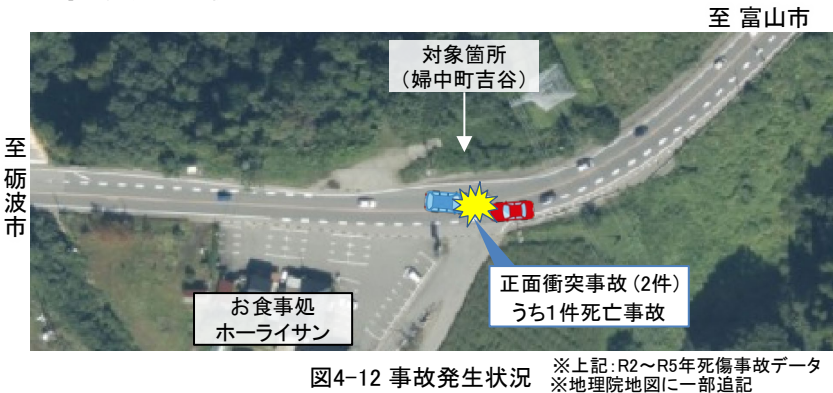
国道359号 婦中町吉谷（無信号交差点） 【抽出基準①：事故危険箇所】

- ① 婦中町吉谷は、近年死傷事故が多発しており、事故危険区間抽出基準に該当。
- ② 当該区間は、正面衝突事故が多発しており、R5年には死亡事故が発生。

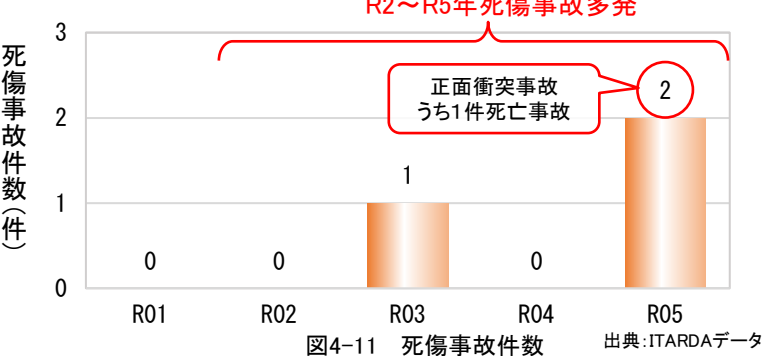
《位置図》



《事故発生状況》



《死傷事故件数》



■ 抽出基準（婦中町吉谷交差点の事故データ）

- ① 死傷事故率：125.8 件/億台km
- ② 重大事故率：41.9 件/億台km
- ③ 死亡事故率：41.9 件/億台km
- ④ 死傷事故件数：0.75 件/年

事故危険区間
抽出基準該当

出典：ITARDAデータ(R2～R5年事故データ)



5. 令和7年度 事故危険区間数

■ 令和7年度事故危険区間まとめ

- 令和6年度事故危険区間登録箇所(132箇所)のうち15箇所を事故危険区間から解除。
- 新たに氷見警察署前交差点などの15箇所を事故危険区間へ追加。
- 令和7年度事故危険区間は、昨年度と変わらず132箇所を登録。(132箇所-解除15箇所+追加15箇所)

【令和7年度事故危険区間数】

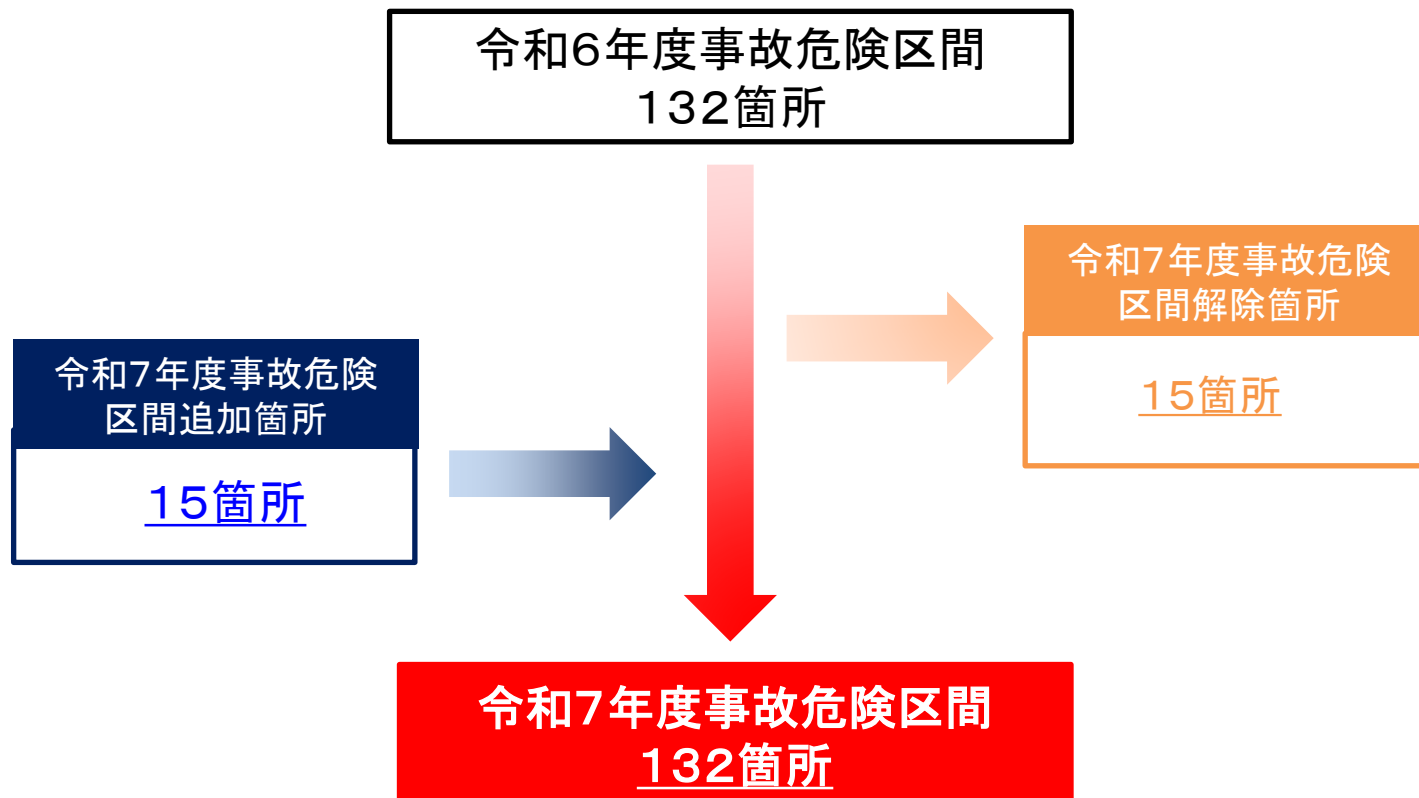


図5-1 令和7年度事故危険区間数

6. 今後の進め方について

■ 今後の検討委員会の進め方

令和7年度 検討委員会（今回）

- ①富山県の交通事故状況
 - ・交通事故件数の推移
 - ・生活道路事故件数の推移など
- ②最新事故データによる事故危険区間の解除・追加判定
- ③今後の進め方

令和7年度 事故危険区間の公表

- ・ 事故危険区間の更新結果

次回検討委員会の開催

富山県内の通学路点検箇所への対策

- 道路管理者や警察、地域の方々と一体となり、通学路合同点検を実施、危険箇所を調査。
- 通学路の危険箇所を速やかに対策 → 通学路の安全性を確保

(1) 国道8号 東狐交差点の対策事例



《通学路合同点検(R3年度実施)》



信号と横断歩道はあるが、**国道を通る車の速度が速く、信号待ちしている児童が恐怖を感じる。**



写真① 通学路合同点検実施状況

【写真撮影日】令和3年9月21日（火）



写真② 通学路点検推進会議状況

【写真撮影日】令和3年12月27日（月）

《対策結果》

【対策前】



※令和4年7月の状況

【対策後】

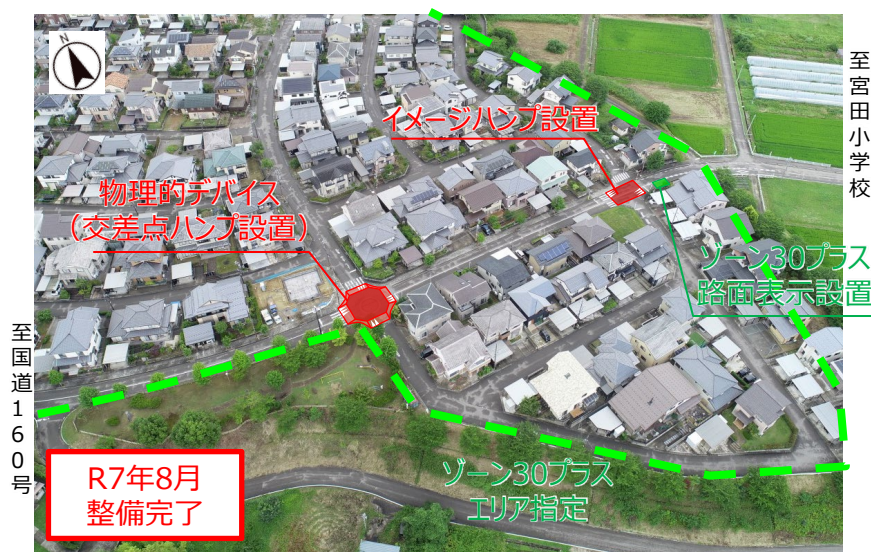


【写真撮影日】令和4年9月13日（火）

富山県ゾーン30プラスの整備と今後の取り組み

- 氷見市泉の杜地区は、物理的デバイス等設置しゾーン30プラスの整備が完了。(R7年8月完了)
- 令和7年3月、通学路および小学校等周辺の交通安全対策を促進する「モデル地域」として、富山県立山町道源寺地内を登録。今後、道路管理者や警察、地域の方々と連携・協力し交通安全対策を検討。

(1) 氷見市ゾーン30プラスの整備



【写真撮影日】 令和7年8月13日 (水)



【写真撮影日】 令和7年8月13日 (水)

(2) 今後の取り組み



通学路の交通安全対策を推進します

～小学校等周辺の面的な交通安全対策を促進する「モデル地域」を65箇所選定～

通学路における交通安全の取組を推進するため、小学校等周辺において面的な交通安全対策を促進する「モデル地域」を65箇所選定しました。

「モデル地域」では、道路管理者が警察や学校、地域等と連携して、データを活用した課題の分析や対策内容の検討、地域との合意形成を進め、「ゾーン30プラス」の導入などによる通学路の面的な交通安全の実現を目指してまいります。

《富山県 立山町 道源寺》

